推薦図書 状態遷移分野

2010年3月19日

組込みソフト産業推進会議 STC検討部会 推薦図書WG 状態遷移分野チーム

目次

- 1.選定の基準(方針)
- 2.推薦図書一覧
- 3.位置付け
- 4. 図書内容紹介

1.選定の基準

図書推薦の対象

「状態遷移」という概念はなんとなく分かっているが、明確に 説明できない、状態遷移図をどう描くか分からない、または 自己流の図になる、というレベルの技術者

市販されている書籍の現状

- ・オートマトンに関する学術的な書籍はある→不向き
- ・状態遷移のみについて記述された実用書は見当たらない



組み込みシステム全般について記述された書籍で「状態 遷移」について分かりやすく実用的に書かれた本から選定

2.推薦図書一覧



1)組込みシステム (IT Text)

価格:3150円(税込)

著者:阪田 史郎, 高田 広章

出版社:オーム社

初版発行年:2006年



2) UML動的モデルによる組み込み開発 —分析·設計·実装·テスト —

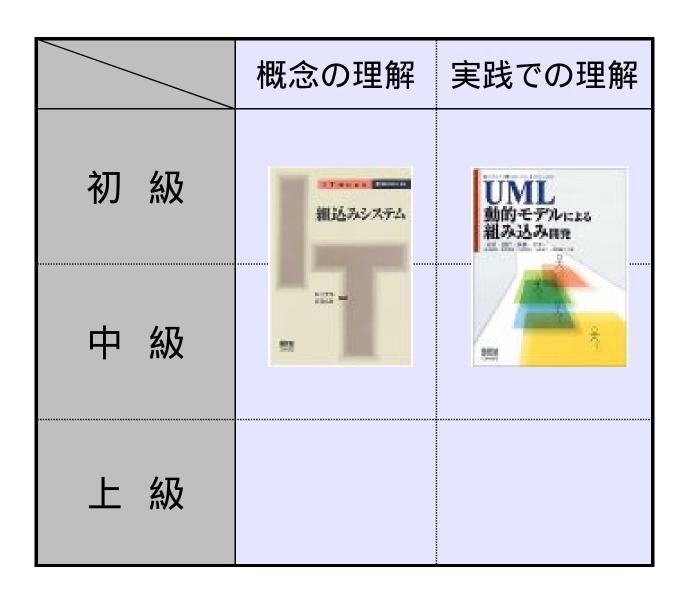
価格:3990円(税込)

著者: 渡辺 政彦,石田 哲史,浅利 康二,飯田 周作,山本 修二

出版社:オーム社

初版発行年:2003年

3.位置付け



- 4. 図書内容紹介
- 4.1「組込みシステム」(1)

何が書かれているか 状態遷移に関しては8ページで考え方、必要性を実例を 挙げて簡潔に記載

推薦理由

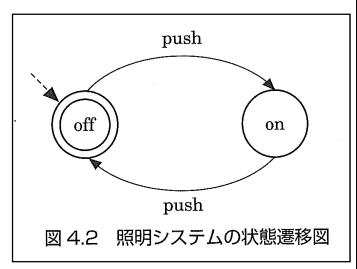
要点が絞り込まれ読むべきページ数が少ない「組込み適塾」の参考書として採用されている

活用方法

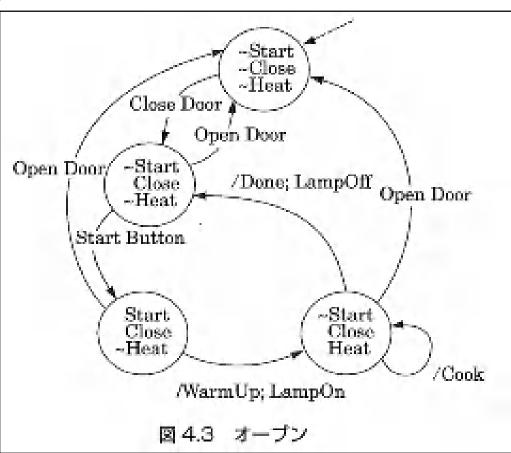
「なんとなく分かっている」知識の裏付け・再確認

- 4. 図書内容紹介
- 4.1「組込みシステム」(2)

内容抜粋(P123,P124)



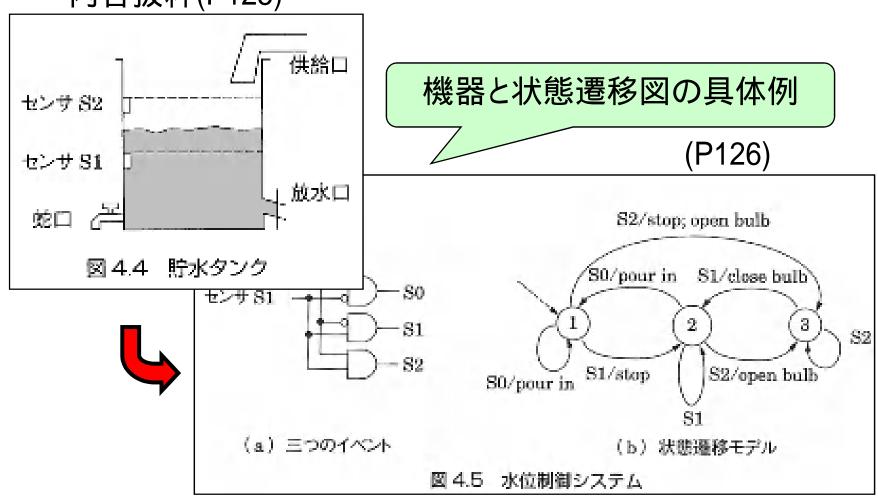




4. 図書内容紹介

4.1「組込みシステム」(3)

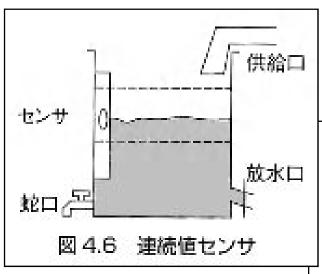
内容抜粋(P125)



4. 図書内容紹介

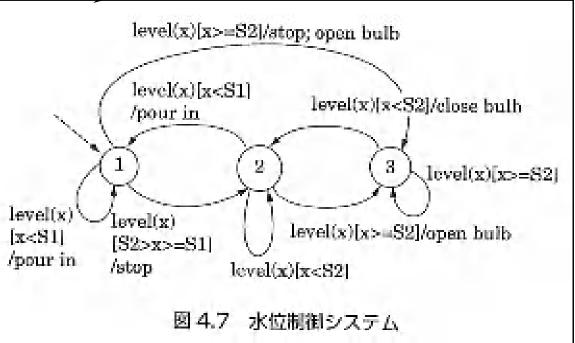
4.1「組込みシステム」(4)

内容抜粋(P126,P127)



キーワード:

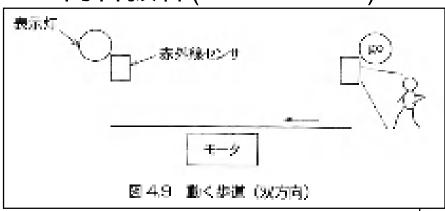
- ・遷移ガード条件
- ・ミーリ型状態遷移マシン

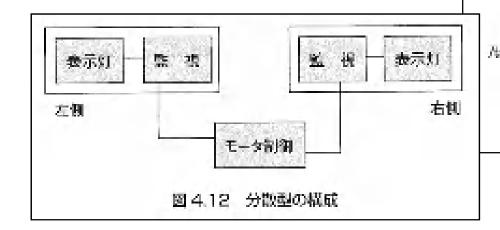


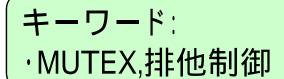
4. 図書内容紹介

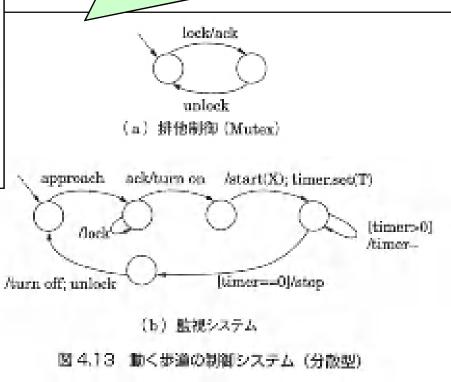
4.1「組込みシステム」(5)

内容抜粋(P128~P130)









4. 図書内容紹介

4.2 「UML動的モデルによる組み込み開発」(1)

選定理由

全体としてはUMLの各手法を順に説明するのではなく、 課題に対してどうUMLを利用するのか、という課題解決 形式で記述されているので、実務的である

ユーモアを交えながらストーリー仕立ての記述で 読み易さに考慮されている

「組込み適塾」の参考書として採用されている

活用方法

本書で学習させた後、同様な架空製品の課題を与えて、ステートマシン図を作成させ、理解を定着させる

- 4. 図書内容紹介
- 4.2「UML動的モデルによる組み込み開発」(2)

何が書かれているか

状態遷移に関しては架空の製品 『ロボットマウス「チュー太」』の要求仕様に基づいた

- ·UMLのステートマシン図の具体的な記述方法
- ・状態遷移表の具体的な記述方法

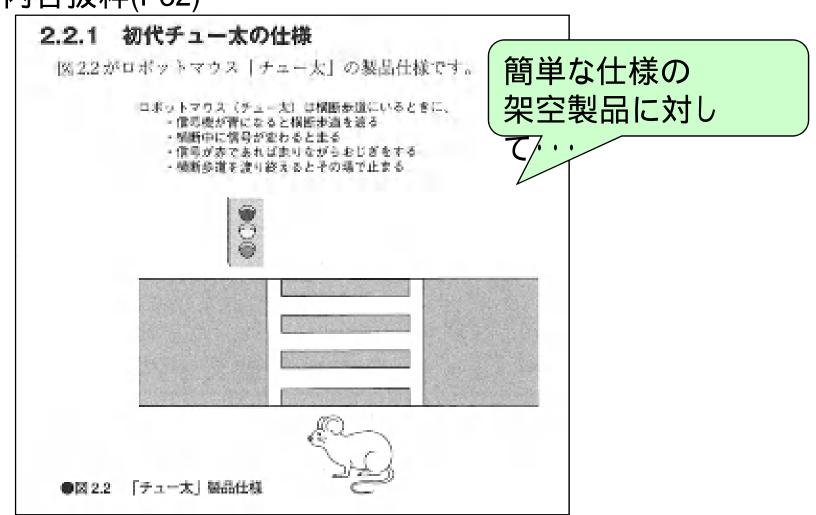
を説明。また

- ・作成したステートマシン図の不備
- ・仕様の拡張への対応

のため、徐々に要素を加えて複雑化させていく過程が、 開発メンバー達の立場でストーリー的に書かれている

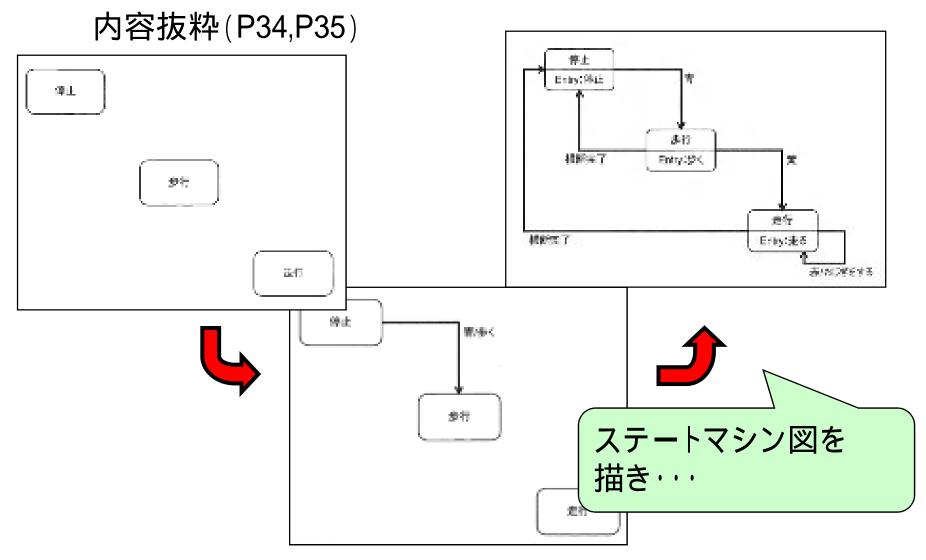
4. 図書内容紹介

4.2「UML動的モデルによる組み込み開発」(3) 内容抜粋(P32)



4. 図書内容紹介

4.2 「UML動的モデルによる組み込み開発」(4)



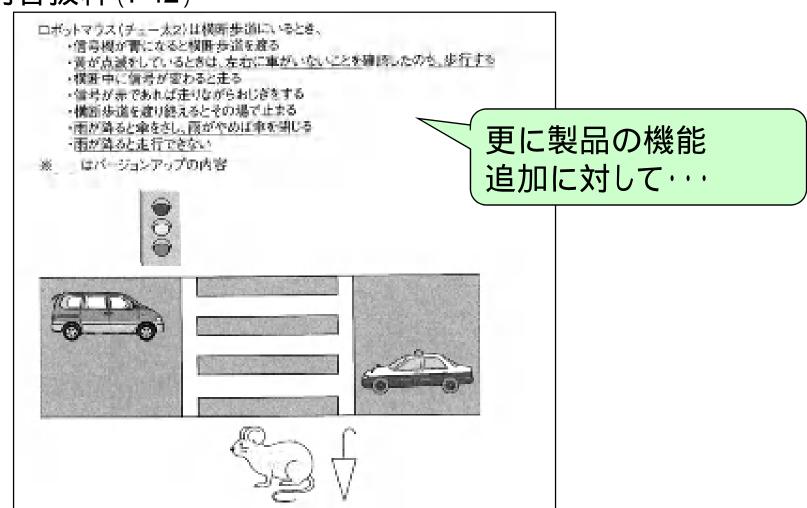
- 4. 図書内容紹介
- 4.2「UML動的モデルによる組み込み開発」(5) 内容抜粋(P37,P38)



同時に状態表の 書き方も示す

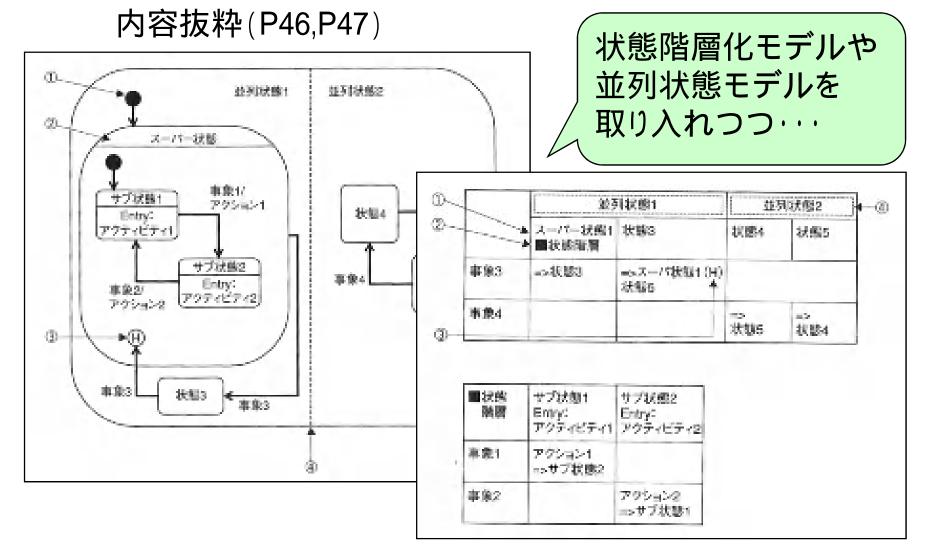
4. 図書内容紹介

4.2「UML動的モデルによる組み込み開発」(6) 内容抜粋(P42)



4. 図書内容紹介

4.2「UML動的モデルによる組み込み開発」(7)



4. 図書内容紹介

4.2「UML動的モデルによる組み込み開発」(8)

